



全国ソフトバレー
シルバーフェスティバル釧路大会
に参加された7チームから
ご寄稿頂きました。

大会に参加して

【Pure (函館連盟) 代表 太田広康】

私達「Pure」は全国レベルの大会には初参加だったので期待半分、不安半分での参加となりました。当日は地元の皆様の暖かいおもてなしの開会式に参加して、これぞ全国大会という雰囲気を十分に味わわせて頂きました。さて、予選は3チームのリーグ戦で、初戦は鳥取県の鹿野フレンズ杏で、硬さも見られたものの何とか2:1で幸勝、2戦目は沖縄県のオールドスターにも2:1の幸勝でしたが、1位で予選を突破しました。その夜の懇親会では、「もう優勝を狙うしかない」と盛り上がり、お酒で闘魂注入をしました。さて、最終日の決勝リーグの相手は全国大会常連の大阪さくら、兵庫県のぶちよはちらとの対戦でしたが、共に0:2で敗れました。1位で上がってくるチームの凄さを身をもって経験しました。次は一つ上を狙い、これからも練習をしていきたいと思えます。

【来夢 (小樽連盟) 代表 木村豊】

昨年の東香川大会に初めて参加させていただきましたが、3位グループの1位になりましたので今年は、少し期待をして参加しました。会場も広く良い条件の中、1日目は足を故障しているエースをベンチに残して戦いましたが2敗と惨敗でした。交流会で1日目の反省をしながら、女性最高齢の高野さんを中心に交流を深めました。男性最高齢の宮本さんと2年後の徳島大会で、80歳の記念として再会を約束しました。2日目は、エースを先発して必勝を期しましたが序盤で故障を再発し、3位グループの3位と思わぬ結果となりましたが、平均年齢69歳のチームにとっては、楽しい大会でした。審判については、オーバーネット等厳しくジャッジされていたが、技術に少し差があるように感じられた。審判技術の向上も今後の課題と思えます。

旭川選抜として「全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル 釧路大会」に参加させてもらい楽しい3日間を過ごさせていただきました。成績は予選リーグ戦で1勝1敗で2位。決勝リーグ戦でも1勝1敗で2位で終了しました。やはり全国大会、緊張するなという方が無理というもの。独特の緊張感を勉強させていただきました。また懇親会はとても楽しく、偶然にも「さいたま」のチームとは、金曜日から会って、テーブルも同席、帰りも一緒に 釧路の街を散策させていただき、締めにはラーメンまで一緒という偶然が重なり親睦を深めることができ、決勝戦ではお互いを応援するまで親密にさせていただいたことは、この上ない感動でした。交流大会の真髄に触れた今回の大きな収穫でした。北海道連盟関係者の皆様には 大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げたいと思えます。



北海道ソフトバレーボール連盟 便り



平成 26 年 12 月 5 日 26 年 - 0 4
北海道ソフトバレーボール連盟
総務副委員長 (広報担当) 滝本 久子
〒 047-0034 小樽市緑 3 丁目 10 - 26
TEL・FAX 0134 - 25 - 8706
E-mail taki3@s3.dion.ne.jp

第 22 回 全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル 釧路大会

大会結果一覧

開催期日：平成26年10月10日(金)～12日(日)
会場：湿原の風アリーナ 釧路

成績	1位グループ	2位グループ	3位グループ
1位	大阪さくら (大阪)	ビーチファイターズ (神奈川)	オールドスター (沖縄)
	西海パールズ (長崎)	なかよし兄弟姉妹 (大阪)	S A I W A I (千葉)
	福岡キャッツ (福岡)	四日市クラブ (三重)	サウス (栃木)
	K S クラブ (福岡)	二本松 S V C (福島)	アクティブ (宮城)
	Y A G A - C (広島)	FIRE・CROSS (石川)	スカイブル (香川)
2位	あつぎクラブ (神奈川)	北リアスクラブ (岩手)	ポピー熊野 (広島)
	ぶちよはちら (兵庫)	サマンサ (埼玉)	M I X (鹿児島)
	龍 (ロ) (熊本)	S O L E (北海道)	境フェアリー (群馬)
	石山クラブ (岐阜)	明浜みかん (愛媛)	リラ日立 (茨城)
	式部 (福井)	とらまる (香川)	論田マミークラブ (徳島)
3位	キャッツ愛 (山口)	旭川選抜 (北海道)	能代愛好会 (秋田)
	新川大五露 (北海道)	倉敷中洲 (岡山)	カーネリアン (東京)
	P u r e (北海道)	鹿野フレンズ杏 (鳥取)	ナチュラル (宮崎)
	太秦 S V B C (京都)	三重スター (大分)	来夢 (北海道)
	白石オニオンズ (佐賀)	NAKAYOSHI (滋賀)	札幌さくら (北海道)
皐月倶楽部 (静岡)	千歳クラブ (北海道)	ポプリ (愛知)	
ブル刈羽 (新潟)	パトナー (長野)	白河さくら (福島)	
多伎パワーズ (島根)	チームあーち (山梨)	大館ハチ公クラブ (秋田)	

(敬称略)

【新川大五露 (釧路連盟) 代表 荻野敏明】

全国大会に参加することになり、全国の仲間とどんな試合ができるのか、不安があったのと同時に楽しみでもありました。10月11日、待ちに待った本番を迎えました。どんな選手がどんなプレーをするのか、自分達のプレーがどこまで通じるのか、普段練習しているようにプレーができるのか。試合毎に入場行進をしてコートに整列することも、いつもと違う。これが全国大会なのだという緊張がありました。予選リーグ戦2試合、順位別リーグ戦2試合粘って何とか皆でつないで2勝2敗、勝率5割は最高の全国大会でした。交流パーティーも、様々な災害に見舞われた全国の多くの仲間とテーブルを囲み、親睦と交流の輪を広げることができました。さらに、全国の仲間と顔見知りになれたことは、今回の大会の大きな財産だと思います。また、いつかこのような大会に参加できる機会があれば是非参加したいです。

【SOLE (釧路連盟) 代表 武石玲子】

この度北海道連盟役員の皆様には大会を開催するまでに多大なご苦勞があったことと思えます。お陰様で楽しく大会に参加させて頂きましたことチーム一同心から感謝しております。開会式では吹奏楽の生演奏でプラカードを持ちながら入場したこと、学生時代ですら味わえなかったことを今、この歳で経験出来たこと心から感激しました。2日間の試合ではチームワークを武器に自分達の力を充分出せたと思えます。何よりも嬉しかったのは勝敗を気にすること無くお互いのチームが楽しかったよ、ありがとうと声をかけ合ったこと試合が終了握手しながら地域の特産品を手渡してくれたこと。現代社会の中で忘れつつある人情、ぬくもりを胸一杯になる程感じて大事なことを教えて頂いた気がしてこの大会に参加出来たことをとてもありがたく感じました。来年は大阪。皆さんに恩返しするつもりで又大会に参加出来るようチーム一同張り切って練習に励んで行きたいと思っています。沢山の感動をありがとうございました。

【札幌さくら (札幌連盟) 代表 谷口裕子】

栃木県での「ねんりんピック」に参加して中2日でシルバーフェスティバル 釧路大会に参戦、強行スケジュールの試合になりました。雄大な釧路湿原の中にある「アリーナ」。早速展望台に上がり観光気分を味わいました。交流戦、「札幌さくら」7人で・・・成績は別として懇親会もあり多くの方々と交流。鹿児島県のチームの方とは「スポレク」「ねんりんピック」と3回目再会を誓い記念撮影と楽しい時間を過ごす事が出来ました。アリーナでは、素晴らしいプレー、テクニックゲーム運び等観戦。チームワークの大事さ、今更ながら我がチームの練習不足を痛感させられました。今後、練習方法等見直し、レベルの向上を目標に老体に鞭打って頑張り、大会に参加したいと思っています。役員の方々、地元の皆様には大変お世話になりチーム一同感謝しております。ありがとうございました。

【千歳クラブ (千歳連盟) 代表 高田政治】

今回の大会は千歳・恵庭地区連盟の代表として参加させていただきました。ふだんからチームとしてまとまった練習を行っておりませんでしたので、親睦・交流を優先することにして各セットごとにメンバー4人を入れ替え、8人全員が参加できるようにしました。試合の結果は満足できるものではありませんでしたが、親睦・交流を優先することにした当初の目的は十分に果たすことが出来たと思えます。また、これを機会に地域でのソフトバレーボールの認識を上げるために、ゴールドだけの練習を始めることになりました。大きな会場で練習することにより一般の方々に興味を持ってもらい、登録者数のアップに繋がることを期待しています。

【旭川選抜 (旭川連盟) 代表 三井泰雄】